

ICTで 授業 をDX!

学年 小学校5年 教科 社会 など

事前調べ学習でパシャリ!! 興味関心度アップ!!

- 使用するアプリケーション等
- ・オクリンク
 - ・ムーブノート
 - ・Google Classroom
 - ・Google Jamboard
 - ・Google Earth

単元・題材 米づくりのさかんな地域

本時の目標 庄内平野の様子をとらえ、庄内平野の地形や気候に着目して、米づくりに適した土地であることを理解することができる。<知識・技能>

ICTを活用することで できること

- ・事前の調べ学習で、写真を撮り（オクリンク）、クラスで共有することで、興味関心が高まる。
- ・ムーブノートのスタンプ機能を活用すると、各々の産地が可視化でき、さかんな地域が一目で分かる。
- ・Google Classroomで本時の流れを提示することで、学習の流れがわかりやすい。また、Google Classroomに単元ごとにトピックを作ること、単元の振り返りや学習の蓄積を確認することができる。
- ・Google Jamboardを活用することで、調べた内容の共有や、他者の考え等が「いつでも・かんたんに」確認することができ、思考を止めることなく学習を進めることができる。また、学習の流れをルーティーン化することで、取り組む内容を明確化することができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ①事前調べ学習では、普段食べている米をプリント等にメモをして確認をする。
- ②調べた米の産地を地図帳で確認し、学級内で産地の多い地方を確かめる。

2 展開

課題 庄内平野は、なぜ米づくりがさかんなのかを考えよう。

- ①東北地方の気候や土地の特徴を教科書や地図帳で調べる。
- ②ノートに調べたことをまとめる。
- ③まとめたこと、わかったことを発表して全体で共有する。

3 まとめ

まとめ 庄内平野は、米づくりに適した様々な自然環境がそろっている。

- ①ノートに振り返りをする。

DX!

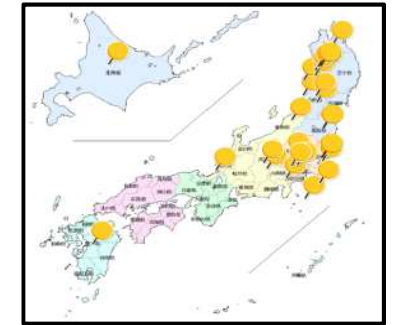
DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ① 事前調べ学習で、**オクリンク**を活用して、普段食べている米の産地や品種、パッケージの写真を撮る。
- ② **オクリンク**を活用し、①で撮影した写真を全体で共有する。
- ③ **ムーブノート**を活用して、調べた産地に**スタンプ**を置く。
 - 関東地方・東北地方の産地が多いことに気付く。
- ④ 庄内産の米を食べている児童を取り上げ、庄内平野の様子を全体で**Google Earth**を活用して観察する。
 - 水田が広がっていることに気付く。



オクリンクの写真で共有すると、同じ人もすぐに見つかり親近感が!!

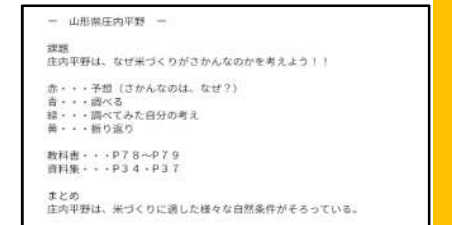


ムーブノートで背景を日本地図に! スタンプ機能で、わかりやすい!!

2 展開

課題 庄内平野は、なぜ米づくりがさかんのかを考えよう。

- **Google Classroom**で課題と本時の流れを提示する。
 - 予想・調べる・まとめ・振り返り(ルーティーン)を**Google Jamboard**を活用してまとめる。
- ① 予想を立てる。(Google Jamboard 赤付箋)
 - 他者の考えを自由に見て参考にする。
 - ② 教科書や資料集、前単元で学習した、土地の利用や気候をまとめた資料を活用して、調べる。(Google Jamboard 青付箋)
 - グループで常に情報を交流しながら調べる。
 - 話し合い、付箋を仲間分けする。
 - ③ グループで調べたことをもとに、米づくりがさかんな理由を話し合う。
 - 調べた付箋から課題解決に向けてキーワードは何かを話し合い、**マーカー**で印をつける。



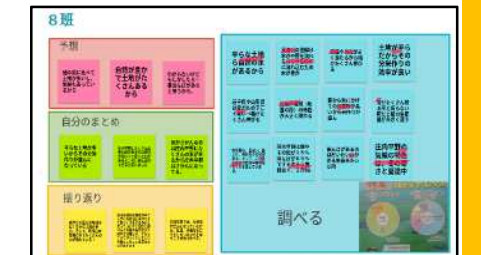
Google Classroomで課題を可視化!! いつでも見返せるのが良い点!!

3 まとめ

- ① 話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。(Google Jamboard 緑付箋)
 - 他者のまとめを自由に見て、理解を深める。
- ② 全体でまとめる。

まとめ 庄内平野は、米づくりに適した様々な自然環境がそろっている。

- ③ 振り返り (Google Jamboard 黄付箋)



Google Jamboardにまとめるワクワク!! 友達の考えをいつでも見ることができて考えが深まる!そして安心!

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・事前調べ学習は、写真を取り入れることによって共有しやすい。友達がどんな米を食べているのか、産地はどこなのか等、興味関心が高まり、スムーズに単元に入ることができた。
- ・ムーブノートでは、スタンプ機能を活用することで、なんとなく東北地方が多いかもしれないという考えが、データとして明らかになったことで、なぜ米づくりがさかんなのか調べてみたという意識が高まった。
- ・Google Jamboardにまとめると、いつでも考えをみることができ、ノートにまとめているときに参加が難しい児童も、主体的に取り組むことができるようになった。
- ・本時は、様々なツールを活用したが、ICTを効果的な場面で取り入れて、紙の資料とのバランスを保つと良い。